



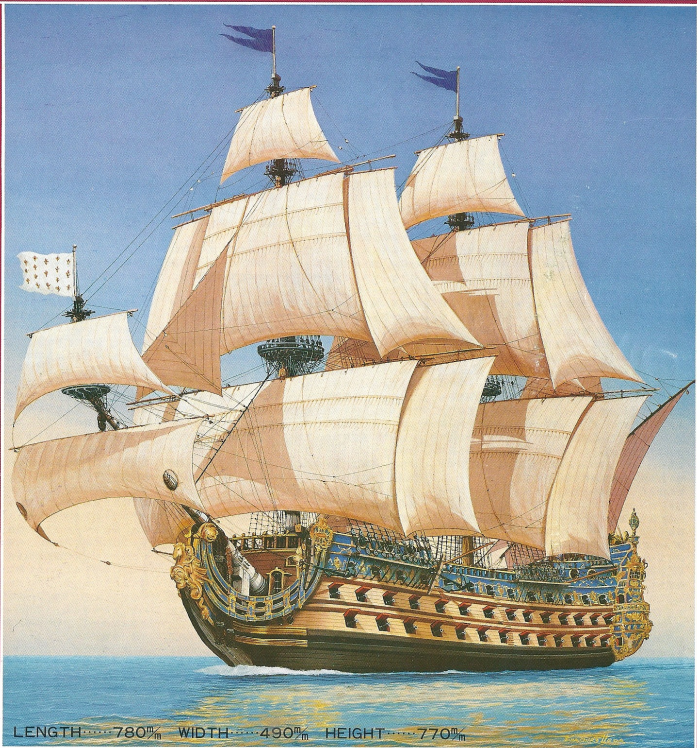
Soleil Royal

IMAI PLAHOBBY KIT

SAILING SHIP SERIES

1/100 SCALE

ソレイユ・ロワイヤル〈帆付き〉



LENGTH.....780mm WIDTH.....490mm HEIGHT.....770mm



ソレイユ・ロワイヤル 解説

このキットは、フランス王家海軍において「ソレイユ・ロワイヤル」の名で呼ばれた三隻の戦艦の内の初代艦の模型です。この初代「ソレイユ・ロワイヤル」は、トールヴィユ提督の指揮下、1690年7月10日のベズヴィエの戦いにおいて勝利をおさめ、さらに1692年5月29日のバルフルールの戦いにも参戦し、その名をとどろかせました。この艦は、L・コバックによって設計され、1669年にプレストで建造され、当初は2000トンの巨体で104の砲を有していました。また艦に搭載した彫刻は、コゾウオの手によるものとなっています。

この艦の初期の生涯については、ほとんど知られていませんが分っているのは、1671年デュケヌ中將が次高木・ド・パンゴワと共に、艦の構築を監督していたことです。この構築は次のものにもなったもので完了していたかようです。というのはソルベルの海戦（1678年6月7日）において、デュケヌ中將はテストル伯爵の率いる艦隊の前方部隊を指揮する事になるのですが、その原データ中では艦が砲70を有する「フリール」艦に改装を施しているからなのです。それ以後「ソレイユ・ロワイヤル」の名がわきまされる事は、どこでや兵装を解かたまま、長い間プレストに眠っていた様相なのです。とはいえ、この艦について「作りがしっかりしていて、帆とにはろみも正確である」とか「船體の速い船である」といった評価が聞かれる程の優秀な艦であったのです。

その後もまたも戦争が起り、イギリス軍ジェームズ2世はオランダ公フィリップによって王位を迫られ、フランスへ亡命を余儀なくされ、ルイ14世は従兄弟ジェームズの肩をもちました。一方フィリップは「アウグスツム同盟」を結成してフランスに対抗しました。これによって「ソレイユ・ロワイヤル」は再び活躍の場を得る事になり、1688年には再び兵装をされる事になりました。この時点でも依然として「船體の速い良い船」と言う評判は変わりませんでした。

そして1689年の戦いには参加しませんでした。翌年ベズヴィエの海戦においては司令官、ド・トールヴィユ提督の持旗は「ソレイユ・ロワイヤル」のマストに翻ったのです。当時フランス海軍に17隻の艦船を擁していましたが、なかでも「ソレイユ・ロワイヤル」は「もっとも正確かつ強力なもの」であったようです。

1690年6月22日のアミアン、停泊地プレストを出航したソレイユ・ロワイヤルは逆風のため、カマレを目前に3日間動かせられずにいました。この時、トールヴィユは、船風向きがセントレナナに偏ることをの情報を得、風向を

が変わったのを見て進路をワイド島へ向けました。停泊地には敵艦の姿は見られませんでした。偵察に出かけた「アルシカ」がビーチヘッド岬の下に艦を下している敵艦3隻を発見しました。そこには同型艦隊の船60隻（英艦39隻、オランダ艦2隻）が集結しており、総司令官は英提督トリン伯爵ハーバードでした。前方部隊は、エウエルツェン中將指揮下のオランダ艦を中心に構成され、中央艦はハーバード司令長官が「ロワイヤル・ソヴェリ」に座乗し、後方部隊はラッセル、アシュビーの両少将が率いました。ハーバードは、フランス艦隊の出現にいきま驚きされましたが7月10日出航を命じました。一方トールヴィユは傘下の3部隊に対し「ソレイユ・ロワイヤル」を中央部に据え完全な隊形を組み、戦闘準備を整えていましたから、トールヴィユは、当然のこと勝利を手中にしました。この戦いで「ソレイユ・ロワイヤル」はアシュビー提督の「サントウィッチ」に対し正確な射撃で大攻撃を与え、艦隊の勝利に貢献しました。

その後1691年、トールヴィユは、69隻の艦を従えて美に50日間、海上を巡行しましたが、この間、ハーバードの後任となったラッセル提督傘下のイギリス艦隊と遭遇することにはなかつたようです。

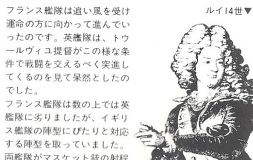
1692年、国王ウィリアム4世の「トールヴィユ」の艦隊は、ジェームズとサン・ヴラース・ラ・ヴュー近くのネヴィルルにおいてワカジョームズに与えた軍勢が無事にトゥーヴァー海峽を渡れるように援助のため出航すべし」と言う命令を受けたトールヴィユは、5月12日、艦隊39隻を率いて出航しました。（出航後、ヴィレット・ミルセル侯爵が率いる5隻が加わり44隻となる。）

これに対し、敵艦隊は、ラッセル傘下の英艦隊63隻とヴァンアルモンドのオランダ艦36隻、これにフランス艦、火船を加えた大艦隊で、両者を比較すると、総砲7154門対3114門、乗組員数は5万3463人対2万900人と圧倒的な数差でした。

フランス艦隊は北東の激風に逆って一週間トゥーヴァー海峽をジグザグに航行した後、5月27日になってやっと軽い南西の弱い風を受けて前進する事が出来ました。ラッセルの艦隊も出航し、海戦は翌々日、フランスのコンクラン半島の見える海峡中央部で行なわれようとしていました。

5月29日の早朝、両艦隊の偵察船は、それぞれラッセルの「ブリタニア」、トールヴィユの「ソレイユ・ロワイヤル」を発見し、炎、旗、砲声等によって敵艦隊の数及び状況を知らせました。その際、偵察船「アンリ」の艦長ラ・ロッシュ・アラールの報告は「ソレイユ・ロワイヤル」を発見した時の様子を「バルフルールの北東21マイルの海上に突如、マストと白い帆が文字どおり林の如く砲光に輝いて出現した」と報告しています。「ソレイユ・ロワイヤル」以下の艦は英艦隊に対して海上に位置していました。したがってトールヴィユが戦闘を拒否すればラッセルは、砲の射程距離内に近づく事が出来ずフランス艦隊を包囲する事も出来ないのですが、トールヴィユが前進すれば名譽であるが潰滅的打撃を受けるのは確実であったのです。

トールヴィユは前進しました。誰の意見も聞かずもく英提督の旗艦に対し狂人の林に突撃したのです。フランス艦隊は追い風を受け運命の方に向かって進んでいったのです。英艦隊は、トールヴィユ提督がこの様な条件で戦闘を交えるべく突進してくるのを見え然としたのでした。フランス艦隊は数の上では英艦隊に劣りましたが、イギリス艦隊の陣型にびたりと対応する陣型を取っていました。両艦隊がマケット銃の射程距離の4分の3のところで接近した直後、オランダ艦が「サン・ルイ」に対し、砲を発射したのを機に戦列をすからすみから戦火が広がりました。時に1692年5月29日の事でした。その日の夕方までには、ノルマンディ海岸には1万を越す砲声がどどろいたのでした。海戦の真中において「ソレイユ・ロワイヤル」は只1艦でブリタニア、「ロンドン」、「セント・アンドリュース」といった三隻の艦艦に打ち向かっていました。敵艦は接触を試みましたがいづれも成功しませんでした。午後半ば頃、トールヴィユは一人八人がイギリス軍戦列との真中に向かう高橋二突進していきました。戦闘は「ソレイユ・ロワイヤル」をめぐり劇烈をさめました。やがて視界が悪くなってきたため砲撃は中止されました。トールヴィユは自艦隊に投擲されました。その頃イギリス艦隊は、波に運ばれて流されたため、フランス艦隊は接近射撃を行う事が出来ませんでした。93対64の優勢に乗じてフランス艦隊を撃滅しようとした艦は、15時間の戦闘の後、夜になって戦闘を放棄しました。しかしこの戦闘の後、フランス艦隊には掃海艦がなかったのです。あてもなく漂流していた「ソレイユ・ロワイヤル」は、防波設備を自ら破壊してしまつたシェールブルの海岸に座落してしまい、艦に見えぬ砲撃を受け、果して、最後をたげたのです。



ルイ14世▼

フランス艦隊は追い風を受け運命の方に向かって進んでいったのです。英艦隊は、トールヴィユ提督がこの様な条件で戦闘を交えるべく突進してくるのを見え然としたのでした。フランス艦隊は数の上では英艦隊に劣りましたが、イギリス艦隊の陣型にびたりと対応する陣型を取っていました。両艦隊がマケット銃の射程距離の4分の3のところで接近した直後、オランダ艦が「サン・ルイ」に対し、砲を発射したのを機に戦列をすからすみから戦火が広がりました。時に1692年5月29日の事でした。

その日の夕方までには、ノルマンディ海岸には1万を越す砲声がどどろいたのでした。海戦の真中において「ソレイユ・ロワイヤル」は只1艦でブリタニア、「ロンドン」、「セント・アンドリュース」といった三隻の艦艦に打ち向かっていました。敵艦は接触を試みましたがいづれも成功しませんでした。午後半ば頃、トールヴィユは一人八人がイギリス軍戦列との真中に向かう高橋二突進していきました。戦闘は「ソレイユ・ロワイヤル」をめぐり劇烈をさめました。やがて視界が悪くなってきたため砲撃は中止されました。トールヴィユは自艦隊に投擲されました。その頃イギリス艦隊は、波に運ばれて流されたため、フランス艦隊は接近射撃を行う事が出来ませんでした。93対64の優勢に乗じてフランス艦隊を撃滅しようとした艦は、15時間の戦闘の後、夜になって戦闘を放棄しました。しかしこの戦闘の後、フランス艦隊には掃海艦がなかったのです。あてもなく漂流していた「ソレイユ・ロワイヤル」は、防波設備を自ら破壊してしまつたシェールブルの海岸に座落してしまい、艦に見えぬ砲撃を受け、果して、最後をたげたのです。

フランス艦隊は接近射撃を行う事が出来ませんでした。93対64の優勢に乗じてフランス艦隊を撃滅しようとした艦は、15時間の戦闘の後、夜になって戦闘を放棄しました。しかしこの戦闘の後、フランス艦隊には掃海艦がなかったのです。あてもなく漂流していた「ソレイユ・ロワイヤル」は、防波設備を自ら破壊してしまつたシェールブルの海岸に座落してしまい、艦に見えぬ砲撃を受け、果して、最後をたげたのです。

フランス艦隊は接近射撃を行う事が出来ませんでした。93対64の優勢に乗じてフランス艦隊を撃滅しようとした艦は、15時間の戦闘の後、夜になって戦闘を放棄しました。しかしこの戦闘の後、フランス艦隊には掃海艦がなかったのです。あてもなく漂流していた「ソレイユ・ロワイヤル」は、防波設備を自ら破壊してしまつたシェールブルの海岸に座落してしまい、艦に見えぬ砲撃を受け、果して、最後をたげたのです。

フランス艦隊は接近射撃を行う事が出来ませんでした。93対64の優勢に乗じてフランス艦隊を撃滅しようとした艦は、15時間の戦闘の後、夜になって戦闘を放棄しました。しかしこの戦闘の後、フランス艦隊には掃海艦がなかったのです。あてもなく漂流していた「ソレイユ・ロワイヤル」は、防波設備を自ら破壊してしまつたシェールブルの海岸に座落してしまい、艦に見えぬ砲撃を受け、果して、最後をたげたのです。

フランス艦隊は接近射撃を行う事が出来ませんでした。93対64の優勢に乗じてフランス艦隊を撃滅しようとした艦は、15時間の戦闘の後、夜になって戦闘を放棄しました。しかしこの戦闘の後、フランス艦隊には掃海艦がなかったのです。あてもなく漂流していた「ソレイユ・ロワイヤル」は、防波設備を自ら破壊してしまつたシェールブルの海岸に座落してしまい、艦に見えぬ砲撃を受け、果して、最後をたげたのです。

〈組み立て上の注意〉

- ★組み立てに入る前に説明書をよく読んで、組み立て順序を頭に入れてから作業に入ってください。
- ★部品の点数が多いため、組み立てに必要な部品だけをランナーから切り離して、使わずに捨ててください。一度に多くの部品を切り離して作業をするため、部品を紛失したり、組み立てを間違えたりする原因になります。
- ★部品をランナーから切り離す際には、カッターナイフやニッパーを使って慎重に行ってください。もししりぞきがあった場合は取り替えてください。
- ★部品を接合する際は事前に仮組みを行ない、部品の合否を見てから接着してください。
- ★組み立てには次の工具が必要と便利です。（ペンチ、ニッパー、瞬間接着剤、クリップ、ハサミ、ピンバイス）

〈塗 装〉

- ★広範囲の塗装をする場合、模型用ラッカースプレー等が便利です。また細部の塗装には、筆（大）(小)、面指筆等を用意しておくことも重要です。
- ★小さな部品は、クリップ等にはさんで塗装して下さい。また、プロットやマッドアイ等の細な部品は、ランナーにつけたまて塗装した方が作業が楽です。
- ★完成写真の塗装は、帆船塗装の一つの目安としてお考え下さい。

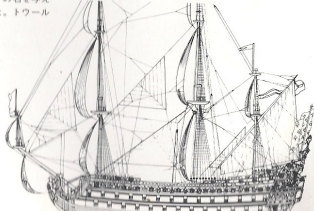
あなた自身のオリジナルを作ってみるのも楽しいものです。

「ソレイユ・ロワイヤル」実船データ

- 全長 77m
- 船幅 15.64m
- メインマスト高 75.5m
(キールよりマスト上端まで)
- 武装

- 24ポンド砲24門
- 18ポンド砲38門
- 12ポンド砲30門

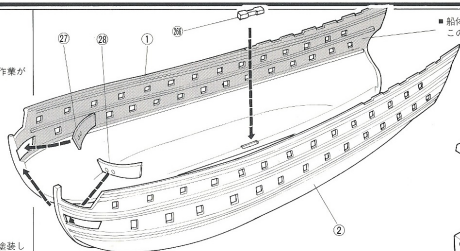
（計108門）



1 《船体の組み立て》

- 図の様に①、②を接着します。
- 図の様に飾り台を組み立てます。

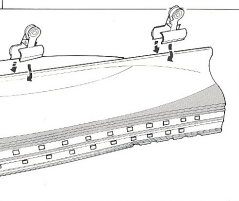
★船体を飾り台にのせておく、後の作業がしやすくなります。



- 図及び完成写真を参照して、船体を塗装して下さい。

船体左右を接着後、クリップ等でしっかりはさんでおきます。

半つや消し白
半つや消し黒
タン
ブラウン

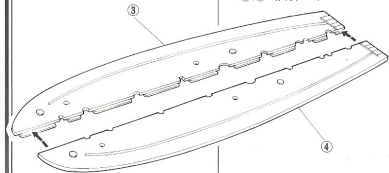


2 《ガンデッキの取り付け》

- 図の様にガンデッキを接着して下さい。

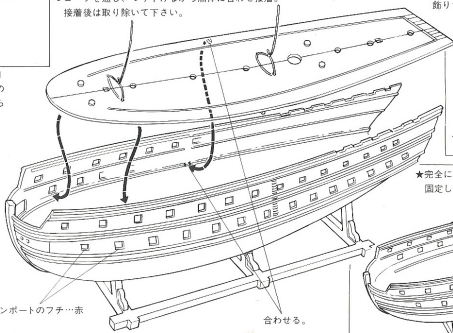
半つや消し黒…黒とフラットベースを5：1の割合で混合します。以降の半つや消しもこの配合になります。

■③、④…赤(表のみ)

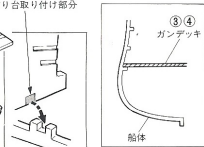


ガンボートのフチ…赤

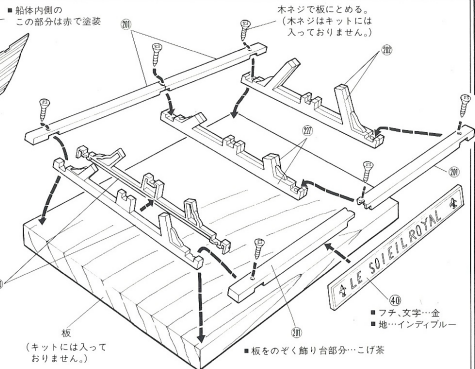
合わせる。



飾り台取り付け部分



★完全に乾くまでゴムバンド等で固定して下さい。



木ネジで板にとめる。
(木ネジはキットには入っておりません。)

(キットには入っておりません。)

■板をのぞく飾り台部分…こげ茶

- フチ、文字…金
- 地…インディブルー

- ロープを通し、つり下げながら船体に合わせ接着。
接着後は取り除いて下さい。

3 《大砲の組み立て》

●図の様に大砲を組み立てます。

(※4種類ありますので、部品をまちがえないように注意して下さい。)

大砲必要数量

- 大砲A.....24組
- B.....38組
- C.....30組
- D.....6組

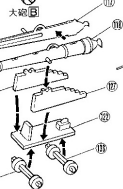
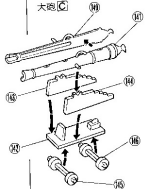
大砲A



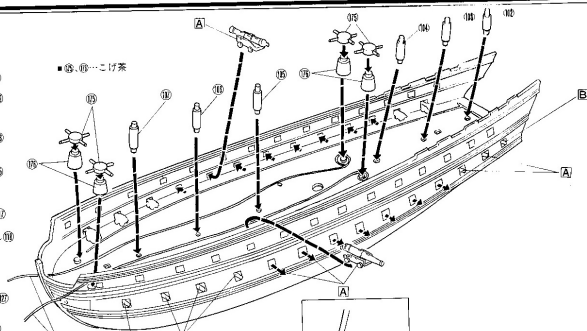
《大砲の塗装》

- 砲身、ホイール…つや消し黒
- 台…こげ茶

大砲C

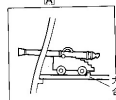


●砲身…こげ茶



No.15ロープ
500mm

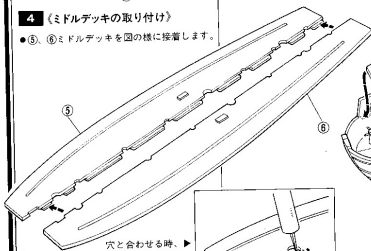
★左右も同様に取り付けます。



★左右同じ要領で接続します。

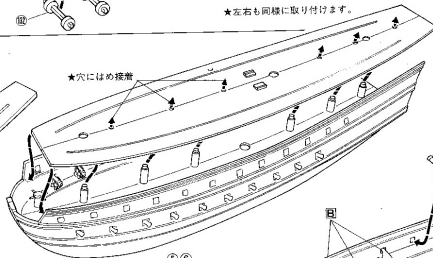
4 《ミドルデッキの取り付け》

●⑤、⑥ミドルデッキを図の様に接着します。



穴と合わせる時、
キリなどをつかい
ひっかけて寄せま
す。

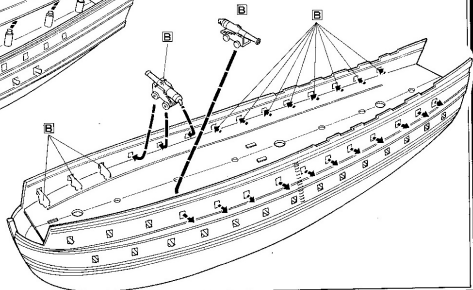
★穴にはめ接着



⑤⑥
ミドルデッキ

ガンデッキ

●⑤、⑥…赤(裏のみ)

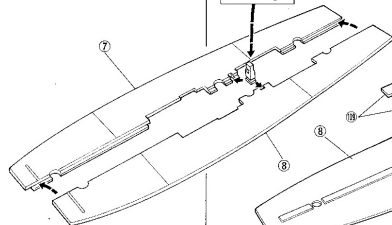
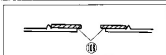


5 《アッパーデッキの取り付け》

- 図の様に⑦、⑧アッパーデッキを接着します。

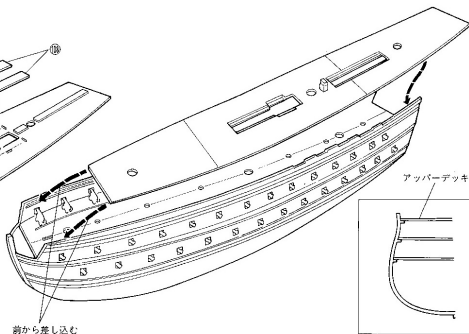


- ⑨、⑩…こげ茶

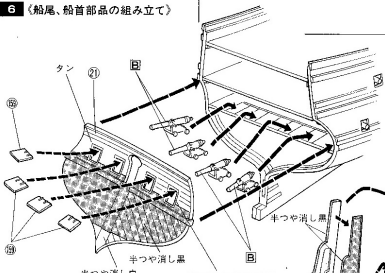


- ⑦、⑧…タン(表のみ)

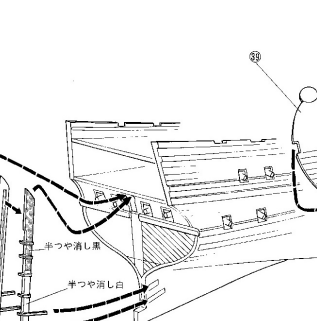
▲裏から見えています。



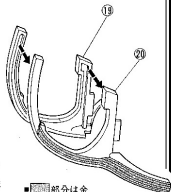
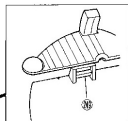
6 《船尾、船首部品の組み立て》



- ⑬…(裏)タン
(裏、フチ)赤
(金具部分)つや消し黒



- ⑲…タン
- ⑳…ブラウン



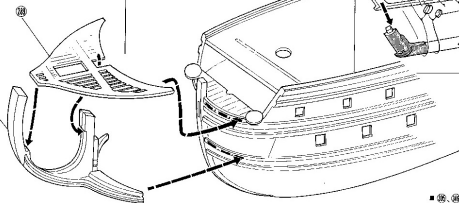
- ⑮部分は金
他はタンで塗装

7 (船首を組み立て)

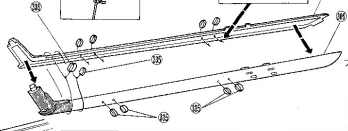
●図の様に船首を組み立てます。

■⑧…つや消し黒

⑥でつくった船首部品



このようにロープに結び目をつくり、紐けようにします。



■⑩…(表)タン (裏)…赤

⑫部分は今

フチ：赤

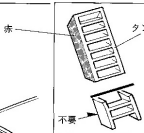
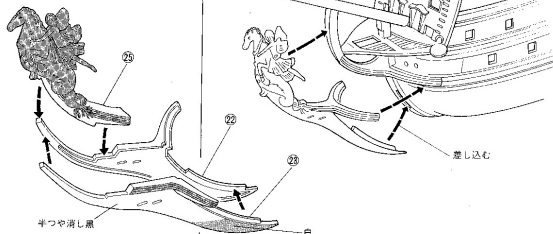
★ブロックは全てつや消し黒で塗装します。

■⑨、⑪、⑬部分がつや消し黒、他はセールカラー

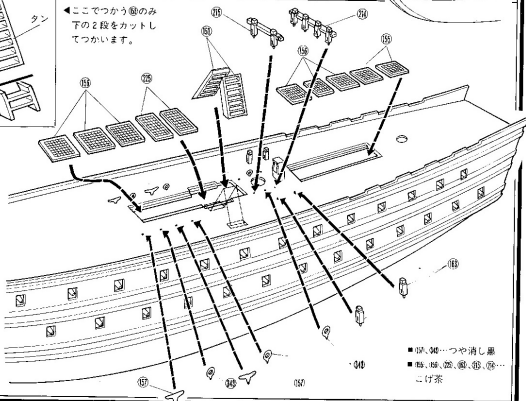
8 (デッキ部品の取り付け)

●図の様に各部品を接着して下さい。

■⑭…(⑫部分)金
他は半つや消し黒

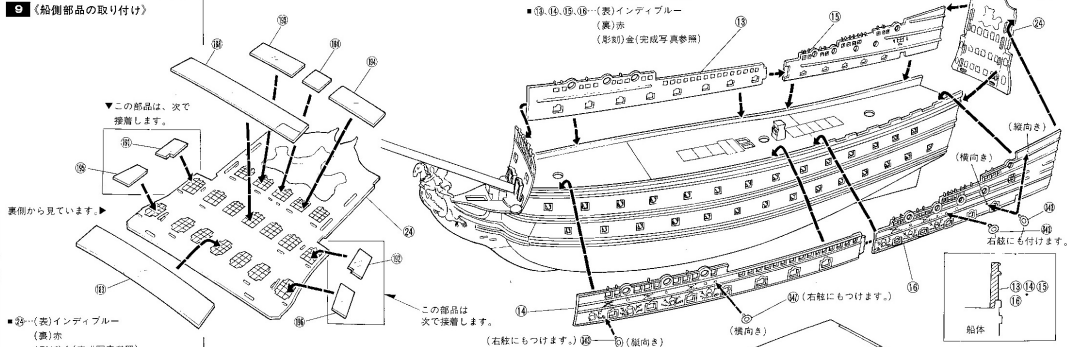


◀ここでつかう⑭のみ下の2段をカットしてつかいます。

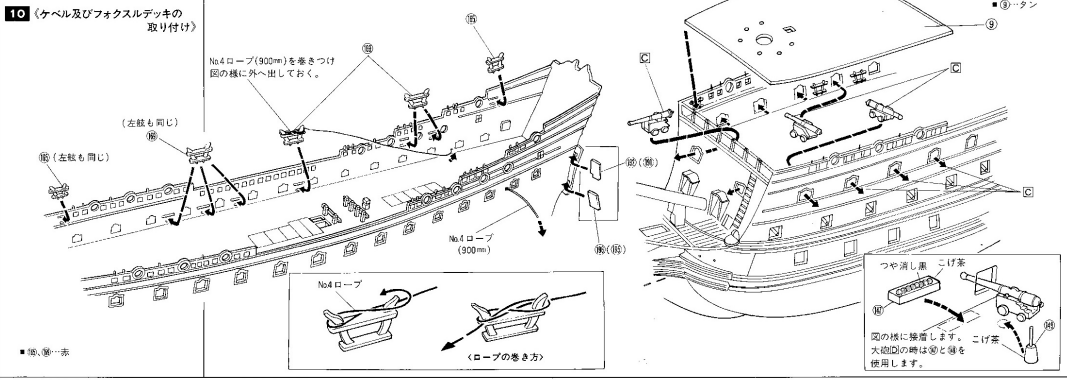


■⑭、⑯…つや消し黒
■⑫、⑬、⑮、⑰、⑱、⑲…こげ茶

9 《船側部品の取り付け》

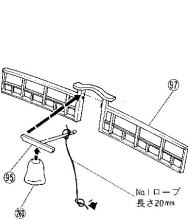


10 《ケル及びフォクスルデッキの
取り付け》



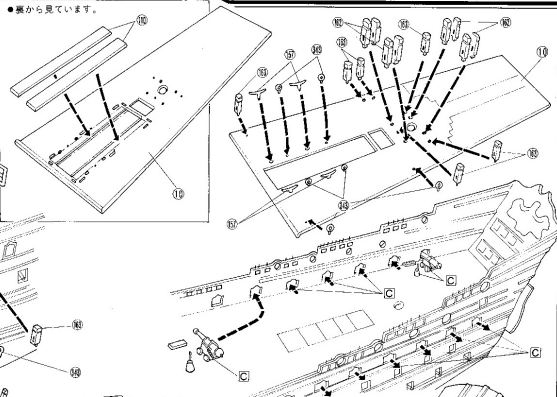
11 〈フォクスルデッキ及びクォーターデッキの組み立て〉

●図の様に各部品を挿入して下さい。



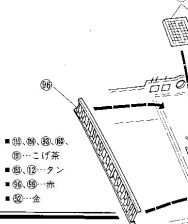
- 95…金
- 97…こげ茶
- 98…赤
- 99, 100, 101, 102…こげ茶
- 103…つや消し黒

●裏から見えています。

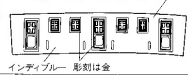
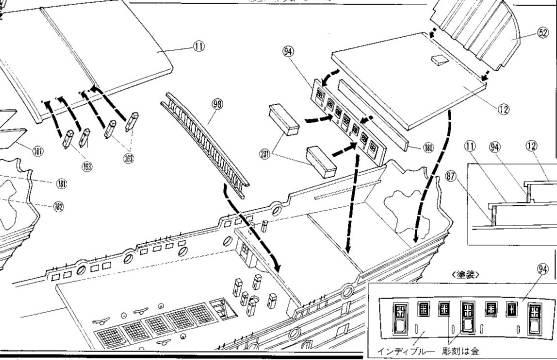


12 〈クォーターデッキの組み立て〉

●図の様に各部品を挿入して下さい。



- 99, 100, 101, 102…こげ茶
- 103…タン
- 104…赤
- 97…金

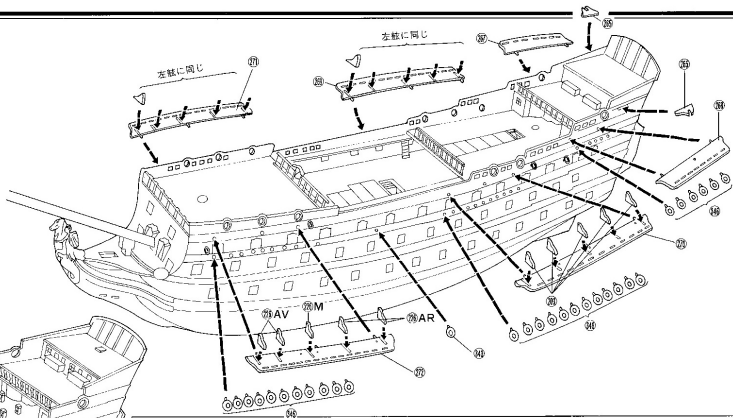
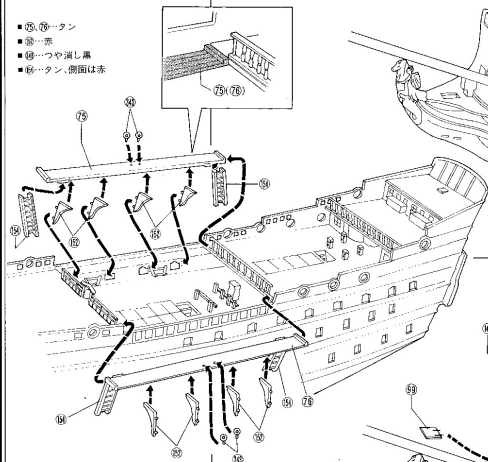


13 〈船側部品の組み立て〉

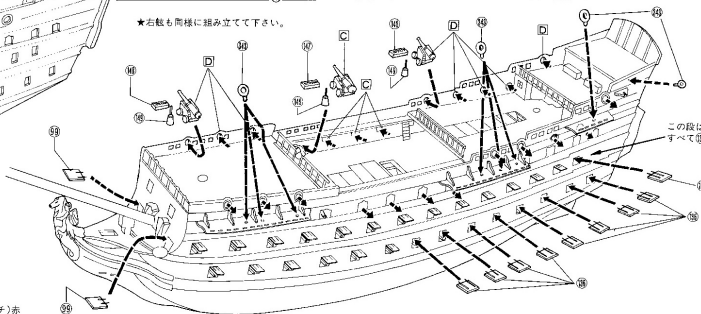
●図の様子各部品を接着して下さい。

●②、③、④(AV, M, AR)、⑤、
⑥-⑧…つや消し黒

■⑨…タン
■⑩…赤
■⑪…つや消し黒
■⑫…タン、側面は赤



★右舷も同様に組み立て下さい。



14 〈ガンポート・リッドの取り付け〉

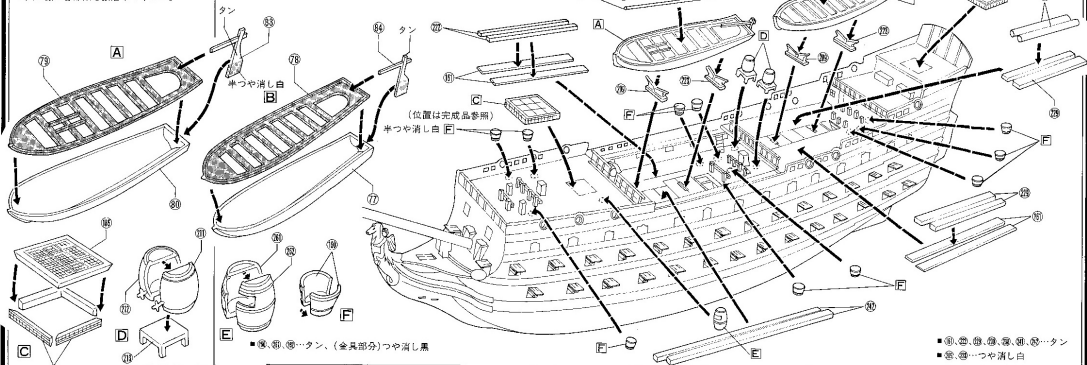
●⑨…つや消し黒
●⑩、⑪、⑫、⑬、⑭は ■ 参照
●⑮、⑯、⑰…(表)タン、(裏・フチ)赤
(金具の部分)つや消し黒

15 (ボートの組み立て)

●図の様に各部品を接合して下さい。

A 図: ⑦⑧…半つや消し黒
 ⑦⑧…(船底)タン、(船底)半つや消し白

▼No1ロープでしぼり
 ボートへ接着。



■⑤⑥⑦⑧…タン、(金具部分)つや消し黒

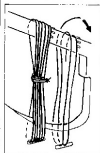
■⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯…タン
 ■⑰⑱…つや消し白

16 (船首の組み立て)

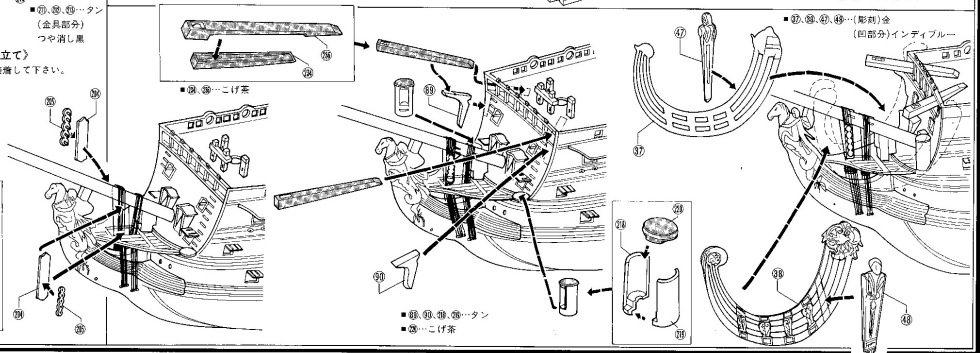
●図の様に各部品を接合して下さい。

■⑳㉑…つや消し黒

★ロープは平行に
 巻いて下さい。



No.5ロープ使用

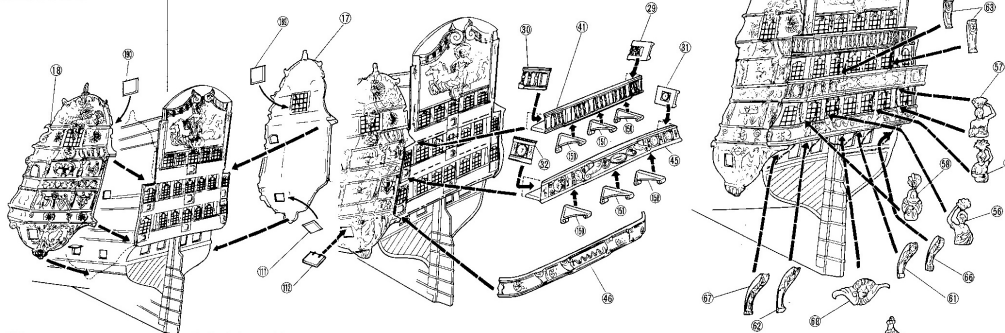


■㉒㉓…こげ茶

■㉔㉕㉖㉗…タン
 ■㉘…こげ茶

■㉙㉚㉛㉜…(彫刻)金
 (凹部分)インディブルー

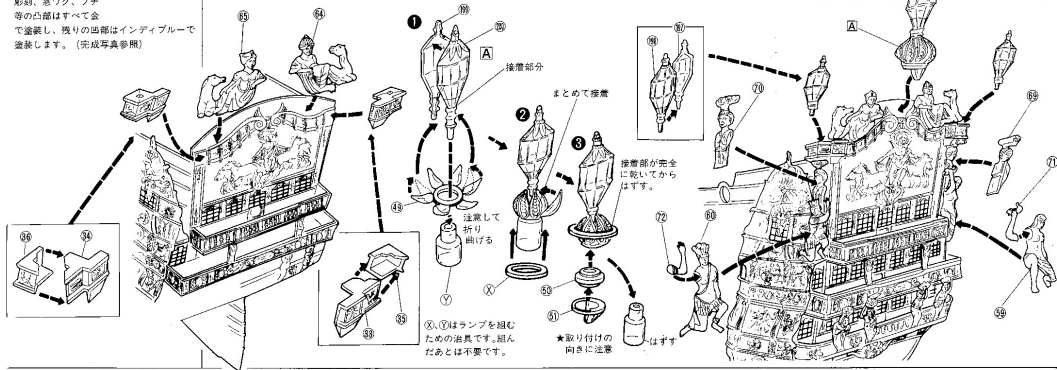
17 〈船尾の組み立て〉



★船尾の装飾の

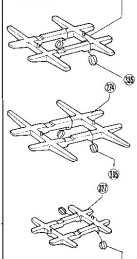
彫刻、窓枠、フチ等の凸部はすべて金で塗装し、残りの凸部はインディブルーで塗装します。(完成写真参照)

■⑩、⑪…(装)タン、(裏)フチ赤



18 (マストの組み立て)

〈クロスツリー〉



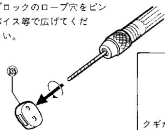
■ 研、砂、油…
つや消し黒

■ はこの様に
組んでください。

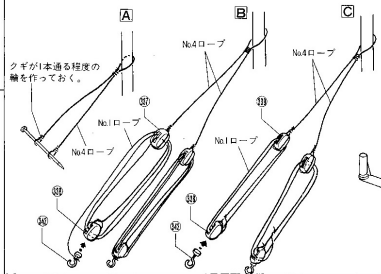


〈注意〉

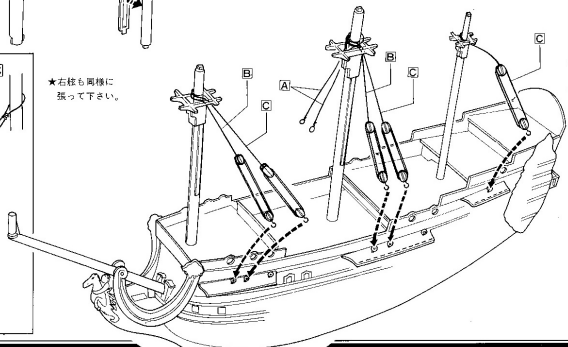
ブロックのロープ穴をピン
バイス等で広げてくだ
さい。



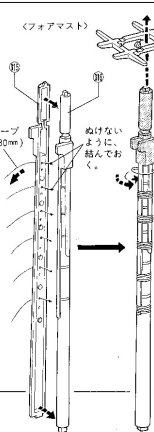
クガリ本通る程度の
輪を作っておく。



★右舷も両様に
張って下さい。



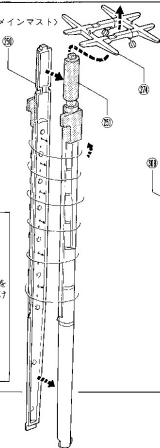
〈フォアマスト〉



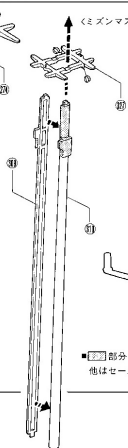
ぬけない
ように、
組んでおく。



〈メインマスト〉



〈ミズンマスト〉



フォアマスト

メインマスト

ミズンマスト

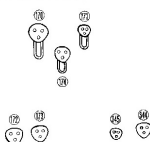
■ 部分はつや消し黒
他はセールカラー

■ で接着した面
の溝をここに
はめる。

〈シュラウド及びデッドアイ〉

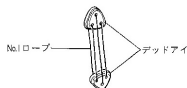
●右図はシュラウド及びデッドアイの配置図です。作業の参考にして下さい。

■下図はデッドアイに使用する部品です。それぞれは使う場所が異なります。まちがえないようにして下さい。

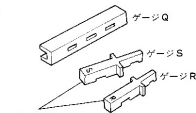


19 〈デッドアイの組み立て〉

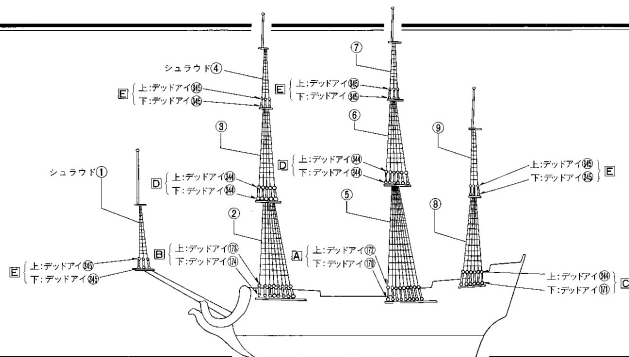
★ロープの長さを一定にデッドアイに張って下さい。



●デッドアイを組む際には、下のゲージを使用して下さい。



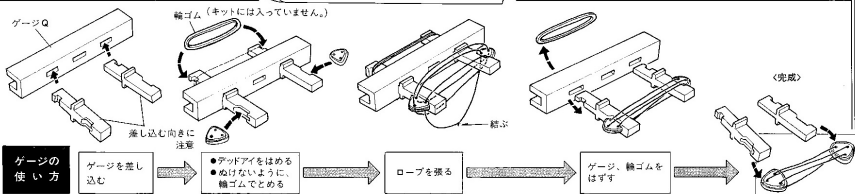
ゲージは全部で9種類あります。実際の作業ではいろいろ組み合わせてつかいます。



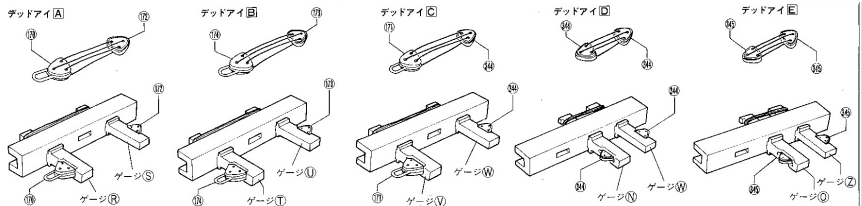
〈デッドアイ使用個数〉
(数字は左右の数です。)

- A18個
- B16個
- C26個
- D22個
- E24個

☐は30のバックステー取付(14個)の数も含まれています。

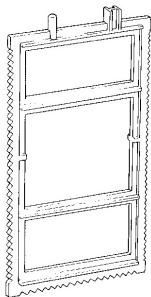


ゲージの
使い方

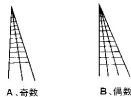


20 〈シュラウドの製作〉

●シュラウドの製作には下のゲージを使います。



▼シュラウドのたてロープが奇数(3、5…)のもの、偶数(4、6、8…)のものがあります。

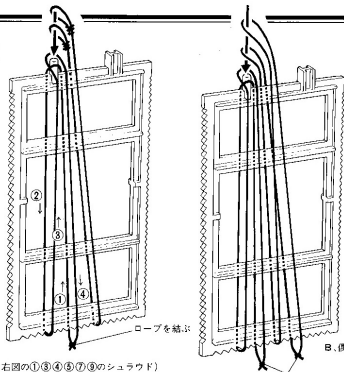


A. 奇数 B. 偶数

(ロープのかけ方がちがいます。上右図参照)

★右図の方法で両柱分のシュラウドが一度につくれます。

1



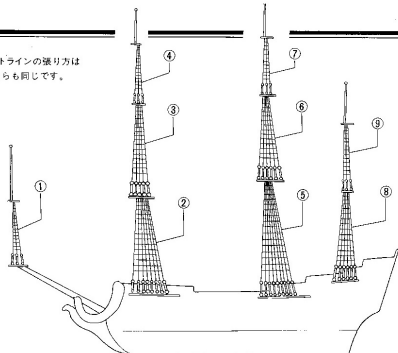
A. 奇数(右図の①③④⑤⑦⑨のシュラウド)

●図の様にロープを結ぶ。数が揃えても同じ方法です。

ロープを結ぶ

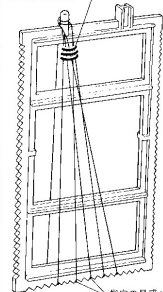
B. 偶数(②⑥⑧のシュラウド)

※ラットラインの張り方はどちらも同じです。



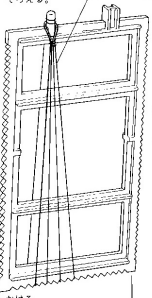
2

張ったロープを図の様に來ねる。
(裏面も同様)



3

重ねたロープを
そろえる。
間隔をそろえる。



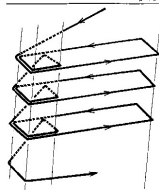
指定の目盛へ引っかける。
(次ページの表参照)

4

図の様にラットラインを張る。
(No.1ロープ)

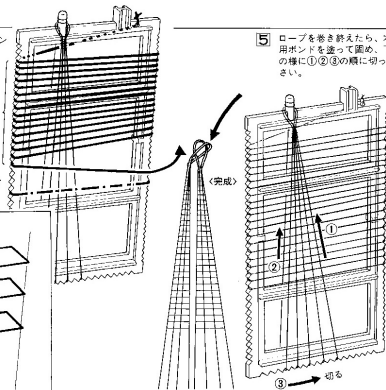
指定の目盛分だけ
巻きつける。
(次ページの表参照)

★ラットラインは図の様に巻けば水平になります。



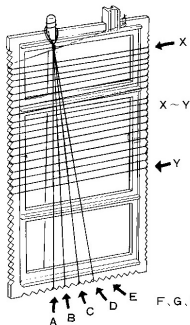
5

ロープを巻き終えたら、木工用ボンドを塗って固め、下図の様に①②④の順に切つて下さい。



《前ページの①～⑥のシュラウドの目盛》

- 右表の目盛番号をゲージに合わせ、各シュラウドのロープを張ります。



	A	B	C	D	E	F	G	H	I	X-Y
シュラウド①	22	18	14							2-18
②	27	24	21	17	15	13	10	7		2-60
③	24	22	20	18	16					2-69
④	27	22	17							2-37
⑤	28	25	23	21	18	16	14	12	10	2-74
⑥	26	24	22	20	18	16				2-68
⑦	24	19	14							2-39
⑧	26	22	19	15	12	10				2-50
⑨	23	19	15							2-27

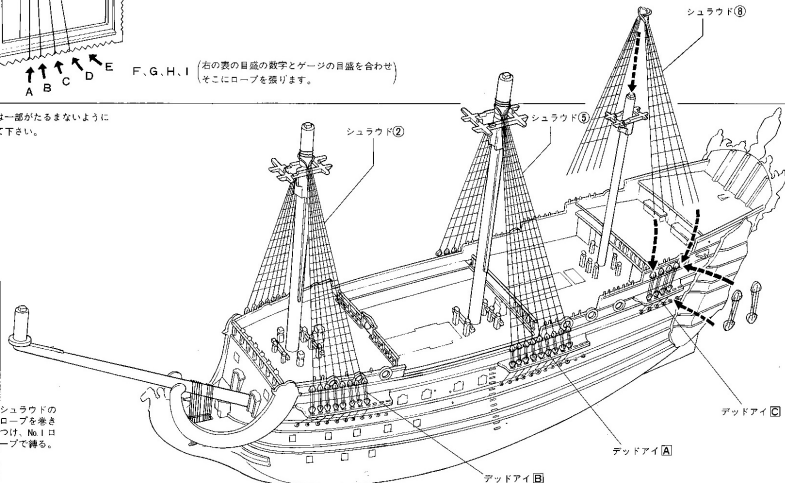
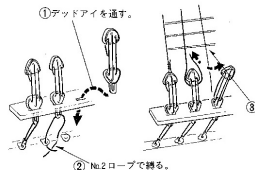
F、G、H、I (右の表の目盛の数字とゲージの目盛を合わせ) (そこにロープを張ります。)

21 <シュラウド②⑤⑧の取り付け>

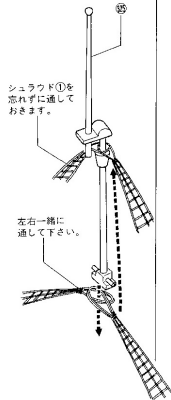
- 110 でつくったデッドアイとの組み合わせを間違えないようにして下さい。

★シュラウドは一部がたるまないように均等に張って下さい。

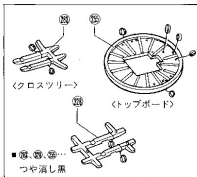
<デッドアイの取り付け方>



22 〈シュラウド(スプリットセール
トップマストシュラウド)の
取り付け〉

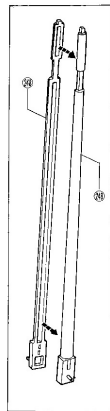
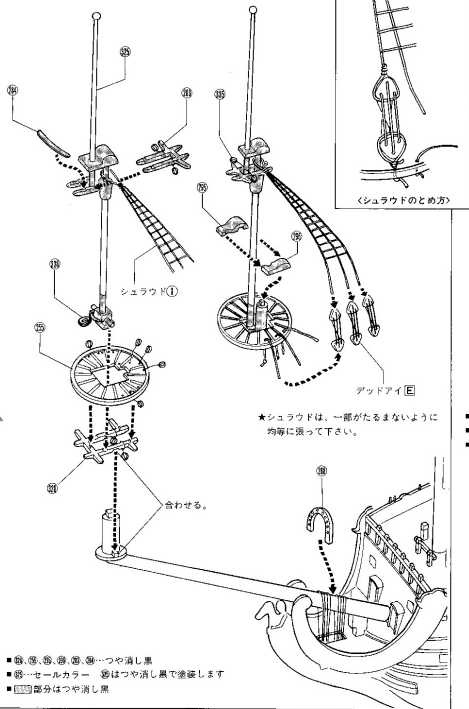


▼各部分にブロック⑬を忘れずに取り付けて
下さい。

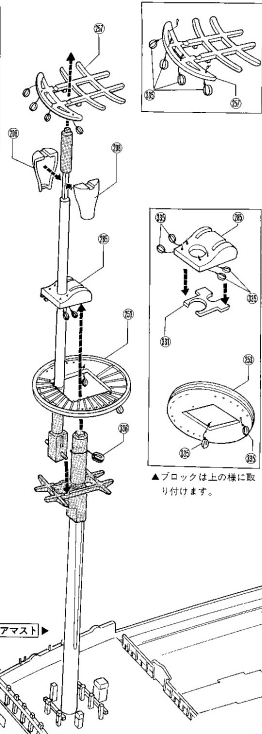


23 〈フォアマストの組み立て〉

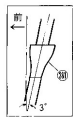
●右図の様にフォアマストを組み立てて下さ
い。



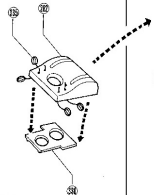
- ⑬、⑭、⑮、⑯…つや消し黒
- ⑰…セールカラー
- ⑱部分はつや消し黒



24 (メインマスト及びミズンマストの組み立て)



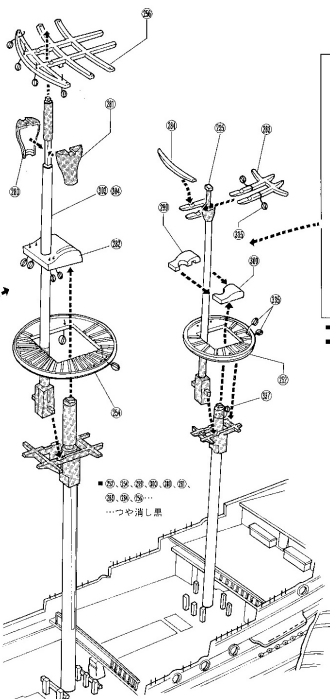
▲このようになります。



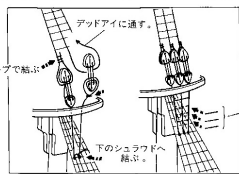
- ⑧、⑨…つや消し黒
- ⑧、⑨…セールカラー
- ⑩部分…つや消し黒

25 (シュラウド③⑥⑨の取り付け)

- 右図の様に各シュラウドを張って下さい。
- ★ シュラウドの一部がたるまないように、均等に張って下さい。



- ⑧…セールカラー
- ⑩部分…つや消し黒

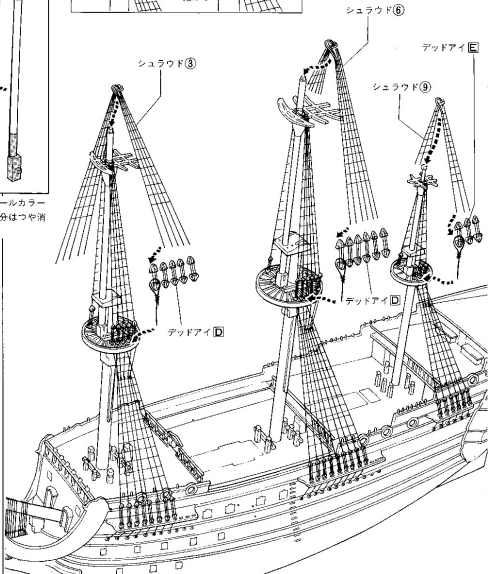


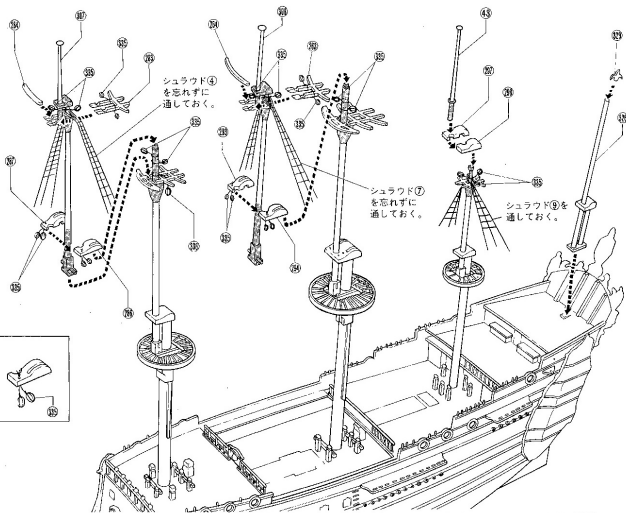
No1ロープで結ぶ

デッドアイに通す。

下のシュラウドへ結ぶ。

No1ロープを切ってホワイトボンドにて接着。





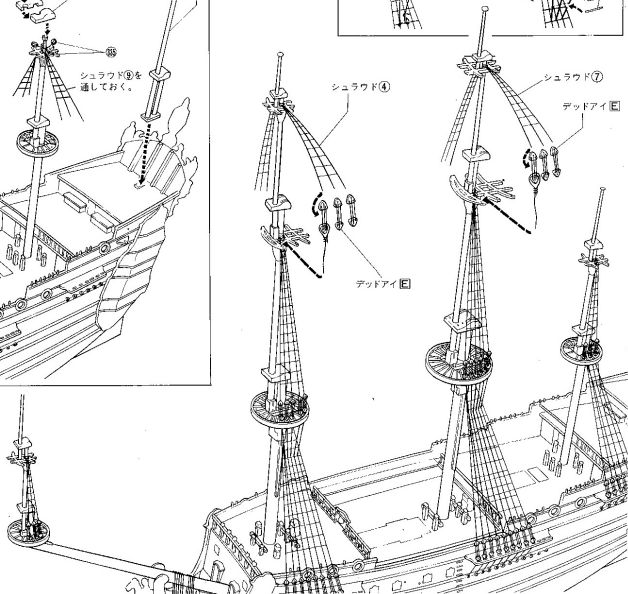
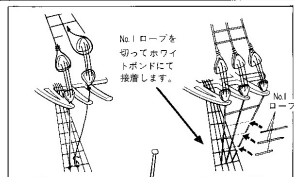
26 (トップゲルンマストの取り付け)

- 図の様に取り付けて下さい。

- ④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒
-つや消し黒
- ④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒...セールカラー
- ④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒...部分はや消し黒
- ④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒...全
- ④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒...こげ茶

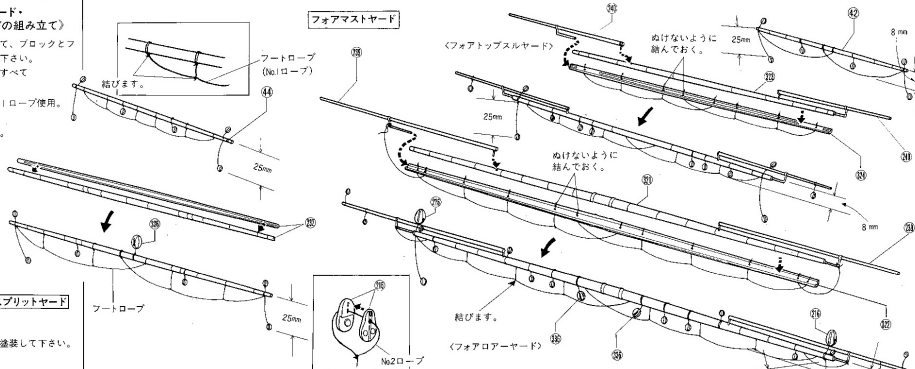
27 (シュラウド(④⑦)の取り付け)

- 右図の様に取り付けて下さい。
- ★シュラウドは一部がたるまないように、均等に張って下さい。



28 〈ボウスプリットヤード・
フォアマストヤードの組み立て〉

- 図の様にはヤードを組み立て、ブロックとフットロープを取り付けて下さい。
- 指示以外のブロックは、すべて巻です。
- ブロックの取り付けはNo.1ロープ使用。各ブロックは、すべてつや消し黒で塗装します。

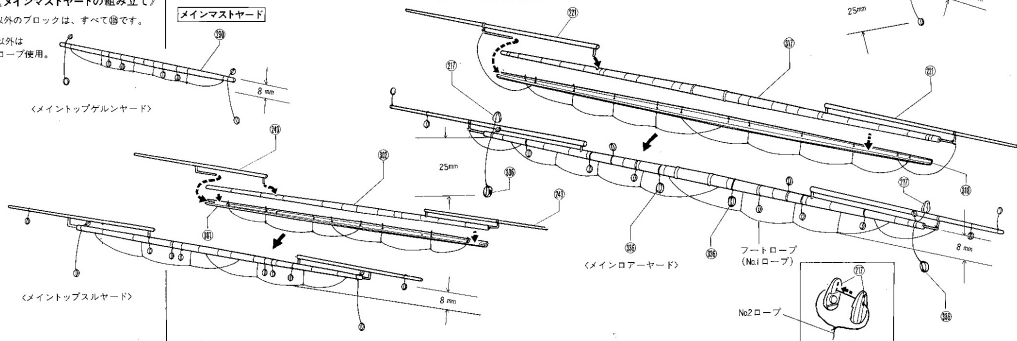


- ヤードはすべてこげ茶で塗装して下さい。

29 〈メインマストヤードの組み立て〉

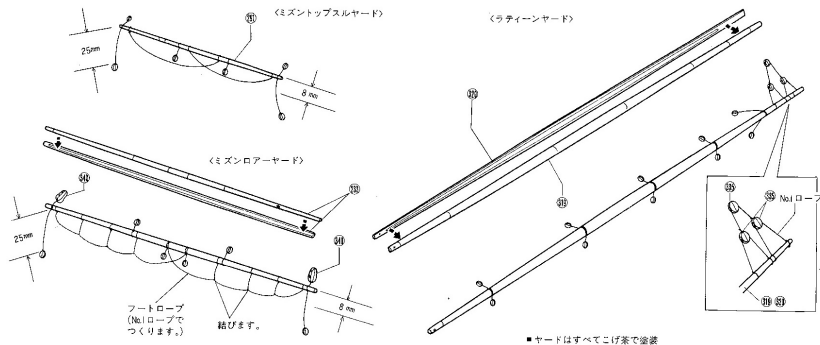
- 指示以外のブロックは、すべて巻です。

- ★指示以外はNo.1ロープ使用。



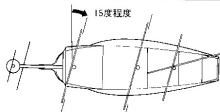
30 <ミズマストヤードの組み立て>

- 図の様にミズマストヤードを組み立てて下さい。
- 指示以外のブロックは、すべて密です。
- ★ ブロックに使用するロープは、すべてNo.1ロープです。
- ★ 物はつや消し黒で塗装します。



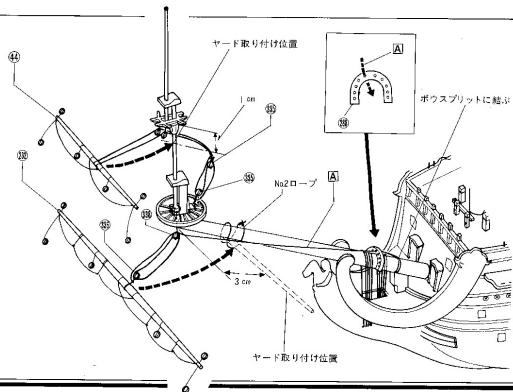
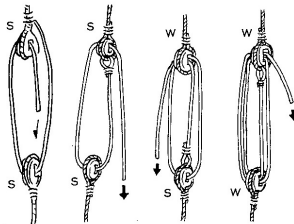
31 <ボウスプリットヤードの取り付け>

ヤードは右図の様に少し角度をつけて取り付けます。



<ブロックの使い方>

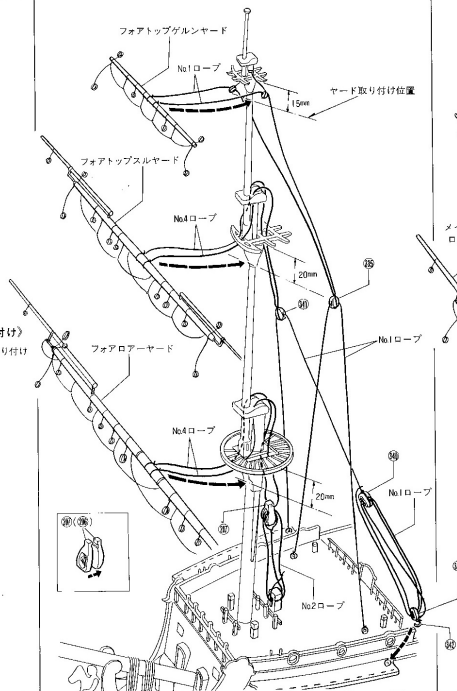
S(シングル)、W(ダブル)の組み合わせによってロープの張り方が変わります。



32 〈フォアマストヤードの取り付け〉

- 図の様にフォアマストにヤードを取り付けます。
各ブロックは、すべてつや消し黒で塗装します

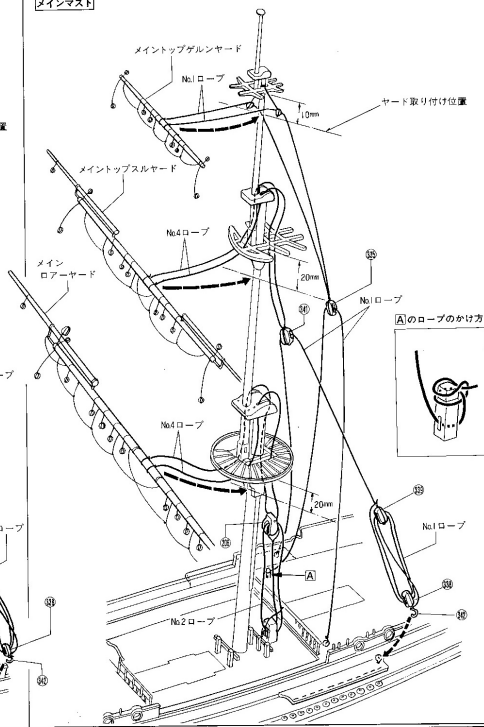
フォアマスト



33 〈メインマストヤードの取り付け〉

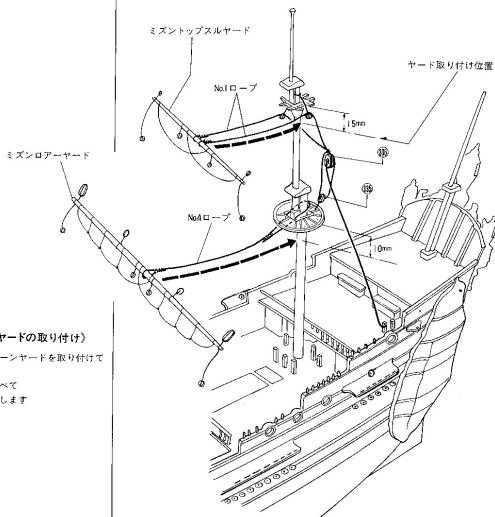
- 図の様にメインマストにヤードを取り付けます。
各ブロックは、すべてつや消し黒で塗装します

メインマスト



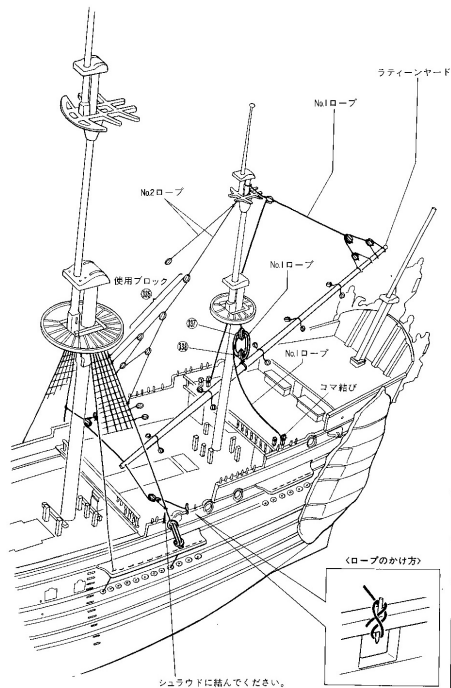
34 <ミズンマストヤードの取り付け>

- 図の様にミズンマストのヤードを取り付けて下さい。
- 各ブロックは、すべてつや消し黒で塗装します



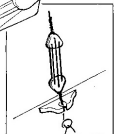
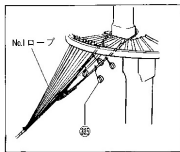
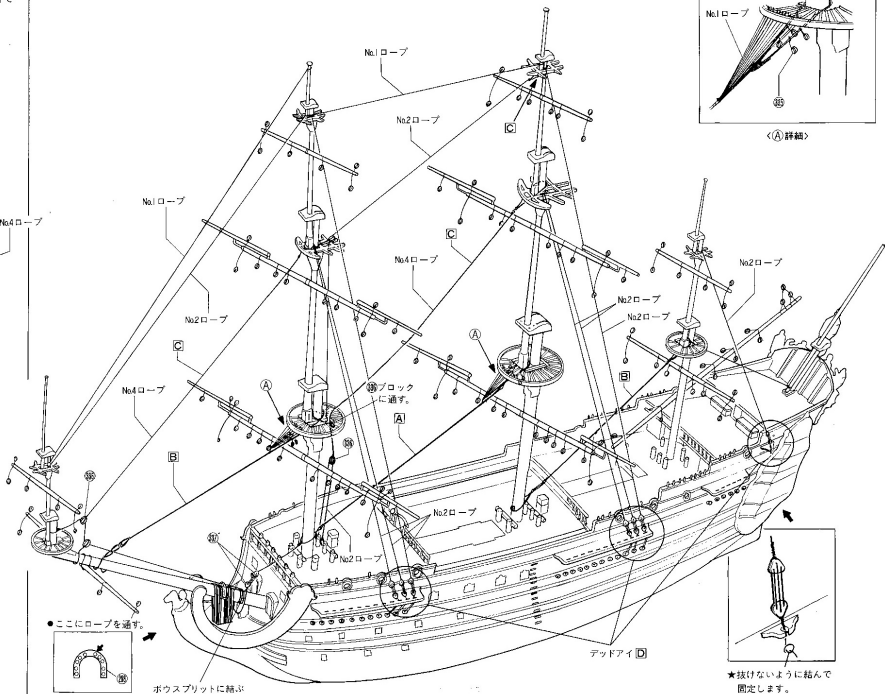
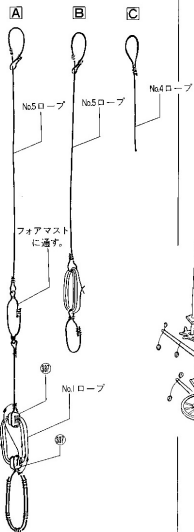
35 <ラティーンヤードの取り付け>

- 右図の様にラティーンヤードを取り付けて下さい。
- 各ブロックは、すべてつや消し黒で塗装します



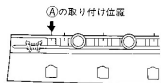
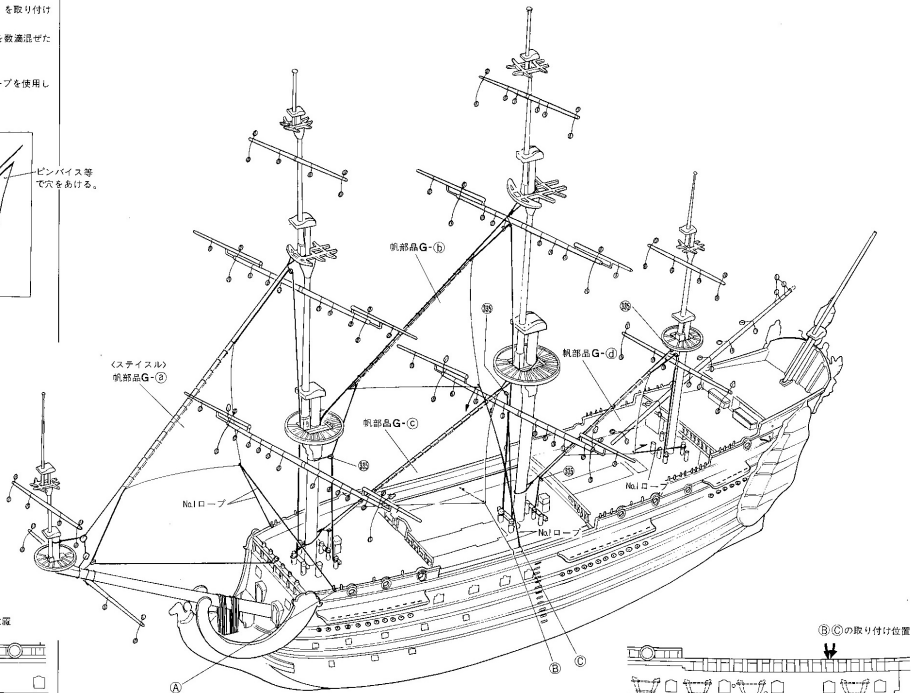
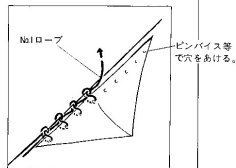
36 〈ステイの取り付け〉

★右図中の固回り⑧は、下の様に結んで下さい。



37 《ステイスルの取り付け》

- 図の様にステイスル（三角帆）を取り付けて下さい。
- 帆の塗装色…つや消し白に黒を数滴混ぜた薄いグレー
- 指示なきロープは全てNo.1ロープを使用します。
- ★ この様に取り付けます。



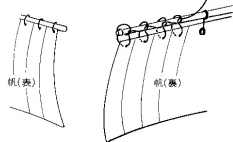
38 《帆の取り付け》

★指示なきロープはすべてNo.1ロープを使います。

★指示なき滑車は軸を使用します。

■帆の塗装色一つや消し白に黒を数滴混ぜた薄いグレー

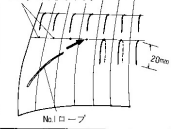
ピンバイス等で穴をあける。



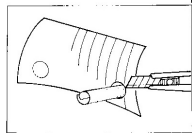
＜リーフポイント＞

帆①①①⑥⑥にキリ等で穴をあけ
ロープを取り付け、接合します。

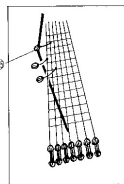
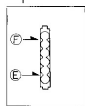
キリ等で穴をあける。



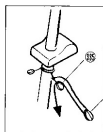
★上図の様に帆をヤードへ
取り付けて下さい。



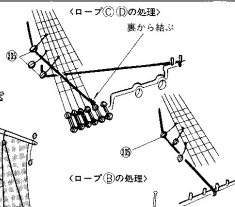
カッターナイフ等で穴をあけ、
サンドペーパーで仕上げます。



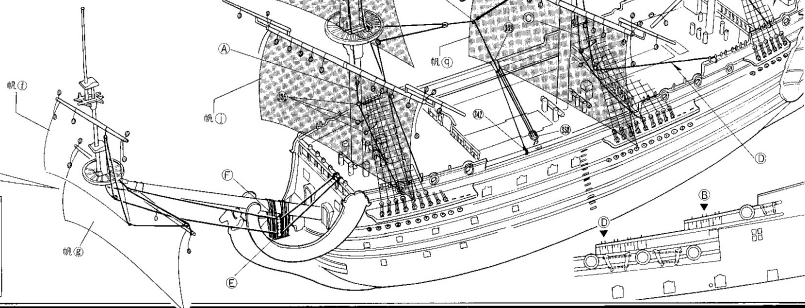
＜ロープ(A)の処理＞



＜ロープ(B)の処理＞



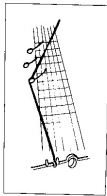
＜ロープ(B)の処理＞



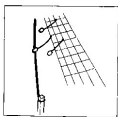
39 (クリューラインの取り付け)

★指示なきロープはNo.1ロープを使用して下さい。

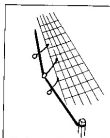
★クリューラインは帆の裏に張ります。
各ブロックは、すべてつや消し黒で塗装します。



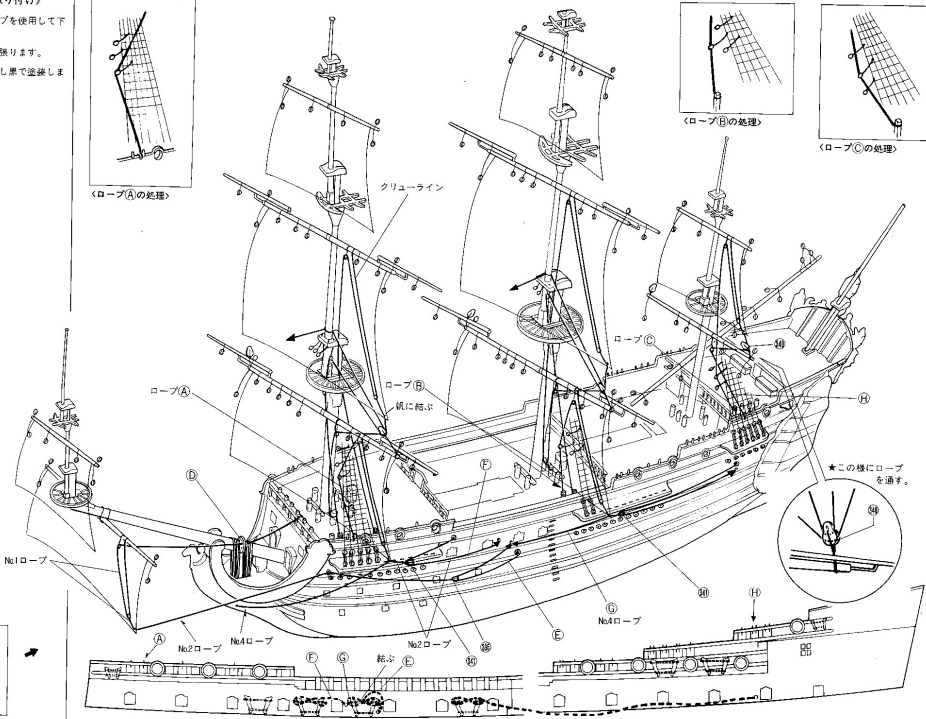
〈ロープ(A)の処理〉



〈ロープ(B)の処理〉



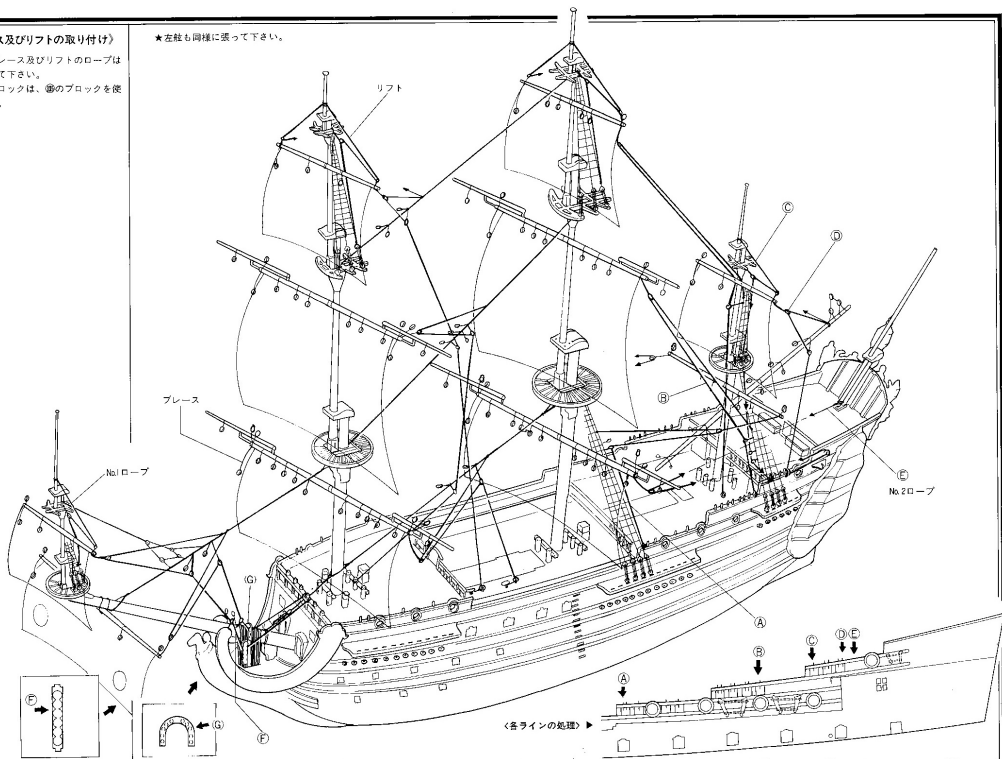
〈ロープ(C)の処理〉



40 《ブレース及びリフトの取り付け》

★左舷も同様に張って下さい。

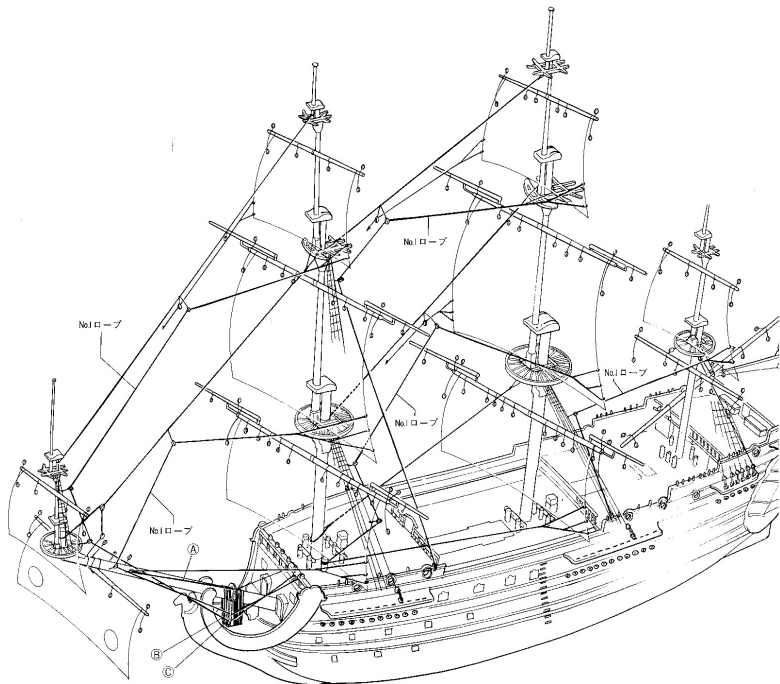
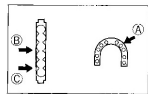
- ★指示以外のブレース及びリフトのロープはNo.1を使用して下さい。
- ★指示以外のブロックは、Ⓜのブロックを使用して下さい。



41 《ボーラインの取り付け》

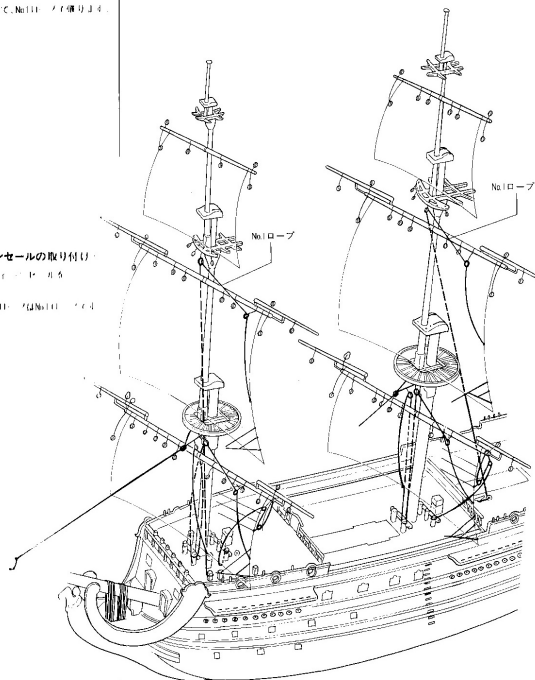
- ★図の様にボーラインを張って下さい。
- ★ボーラインは全てNo.1 ロープで張ります。

★左右同様に作業を行って下さい。



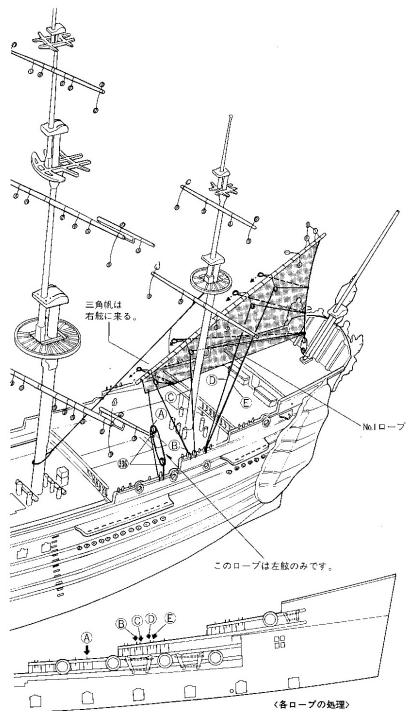
42 〈バントラインの取り付け〉

- 図の様にバントラインを張ってください。
- バントラインは全て、No.11のワイヤリングです。



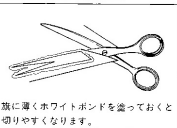
43 〈ラティーンセールの取り付け〉

- 右図の様にラティーンセールの帆を張ります。
- ここで使用するワイヤリングはNo.11のワイヤリングです。



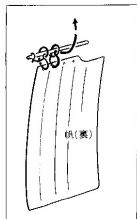
44 (スタンスルの取り付け)

★左舷も同様に取り付けます。



旗に薄くホワイトボンドを塗っておくと切りやすくなります。

●下図の様にロープを巻くように張ります。

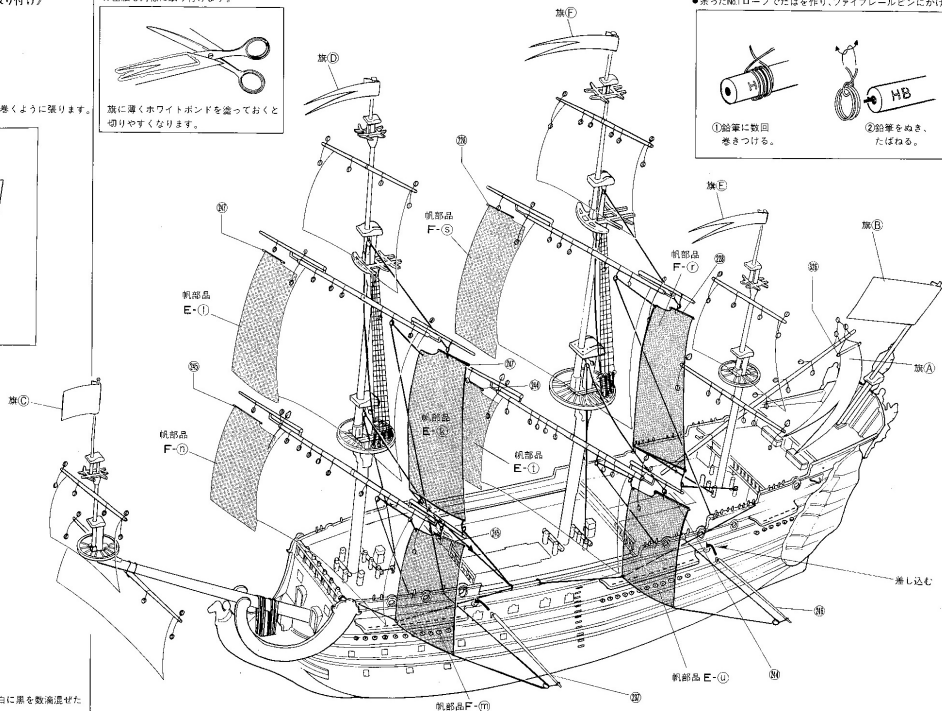


●余ったNo.1ロープでたばを作り、ファイアレールピンにかける。



①鉛筆に数回巻きつける。

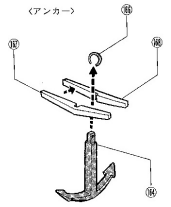
②鉛筆をぬき、たばねる。



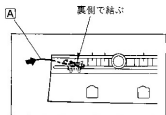
■帆の塗装色…つや消し白に黒を数滴混ぜた薄いグレー

45 〈アンカーの取り付け〉

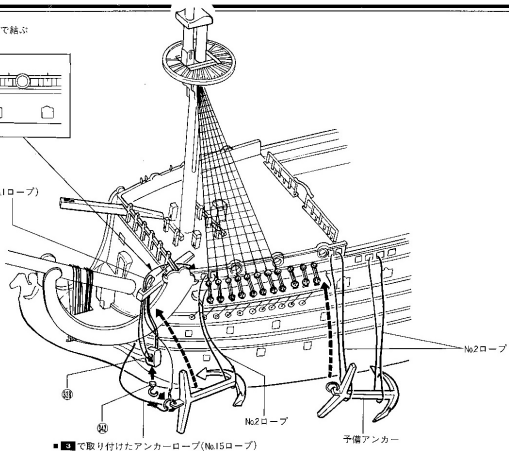
- 図の様にアンカーを取り付けて下さい。
- 線はつや消し黒で塗装します。



- ⑧、⑨…こげ茶
- ⑩、⑪…つや消し黒



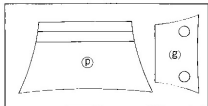
A (No1 ロープ)



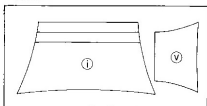
■Aで取り付け付けたアンカーロープ(No.15ロープ)

PARTS (部品図)

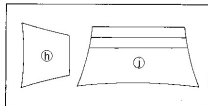
▼帆部品B



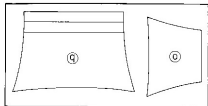
▼帆部品A



▼帆部品C



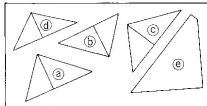
▼帆部品D



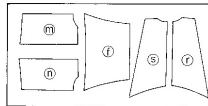
- 接骨剤×1
- 水性ホワイトボンド×1

- No.1ロープ
- No.2ロープ
- No.4ロープ
- No.5ロープ
- No.15ロープ

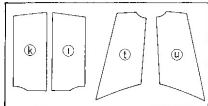
▼帆部品G

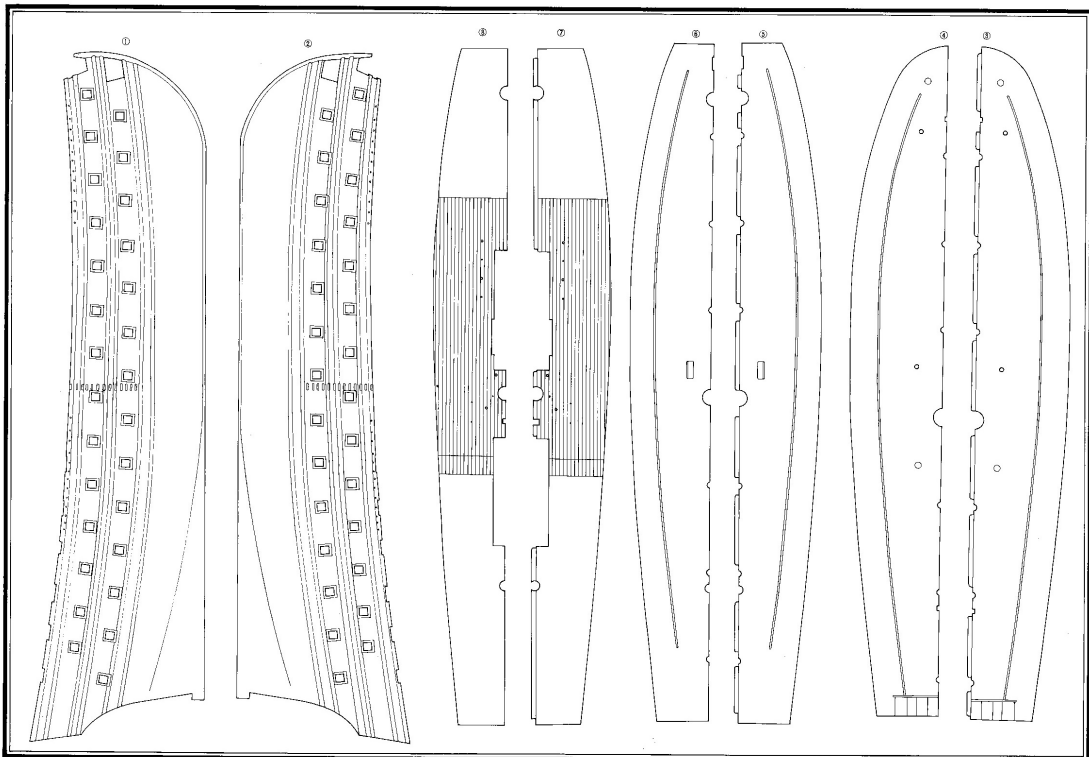


▼帆部品F

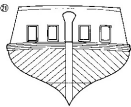
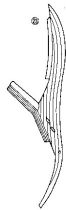
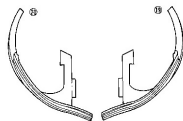
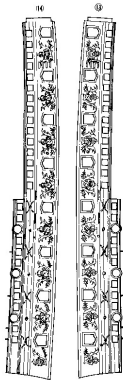
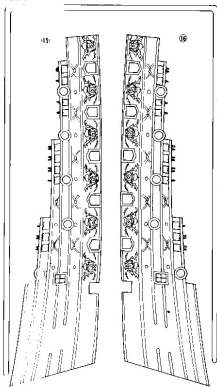
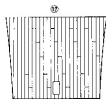
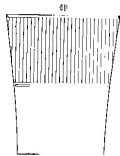
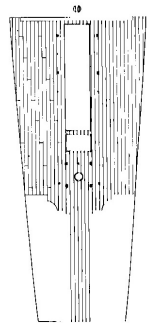
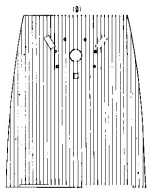


▼帆部品E

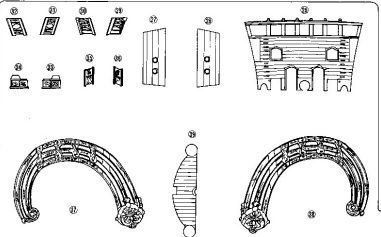




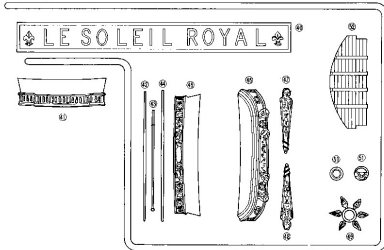
No 4

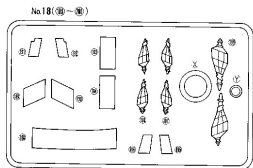
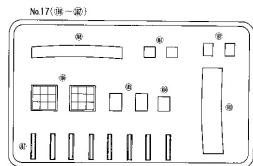
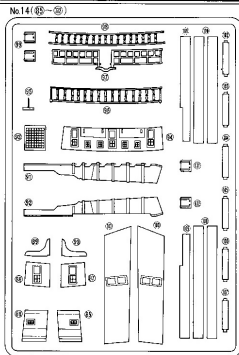
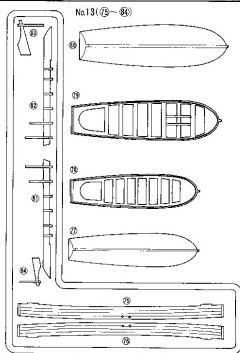
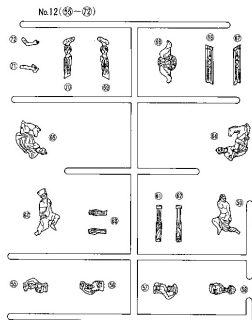


No 10 (25-29)

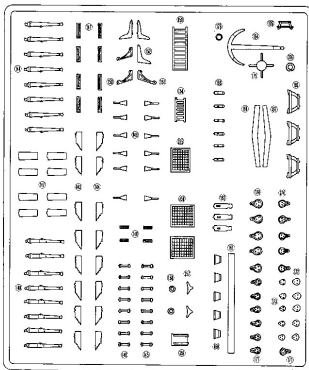
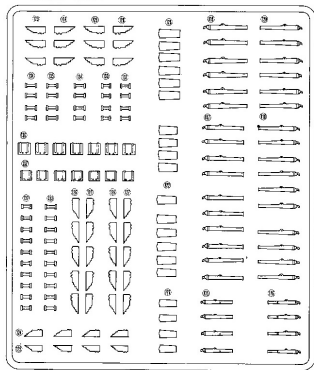


No 11 (30-32)



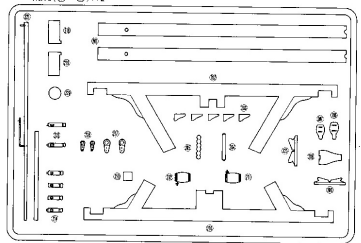


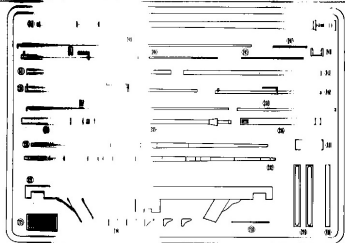
No.15 (99-108) × 4



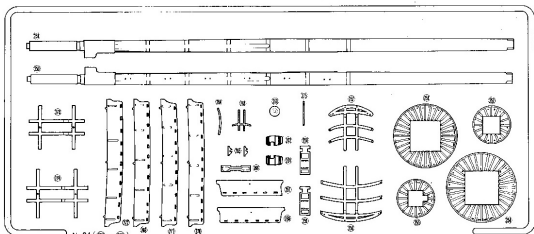
No.16 (109-118) × 4

No.19 (119-128) × 2

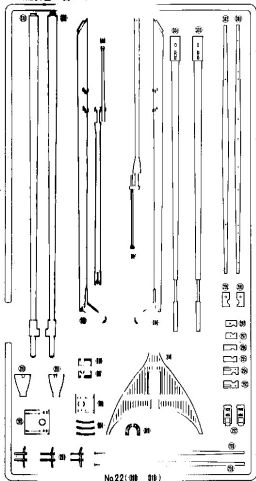




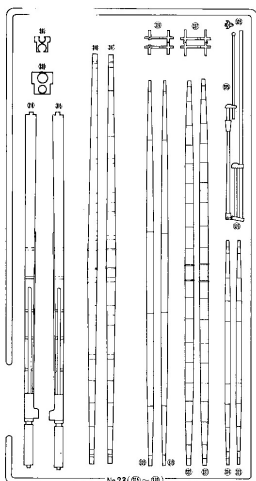
No.20 (9-1)



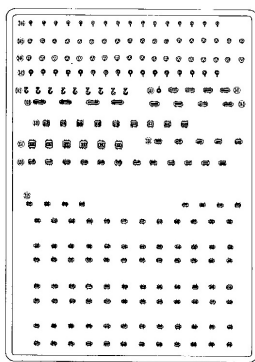
No.21 (9-9)



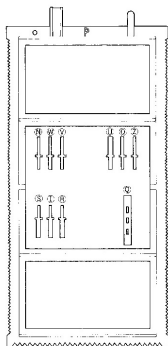
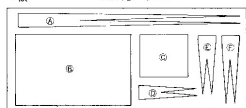
No.22 (9-9)



No.23 (9-9)

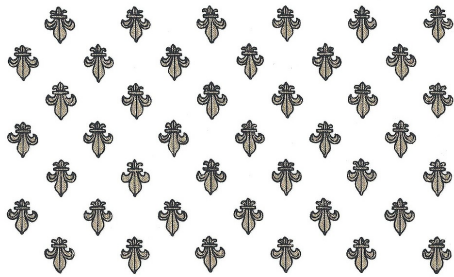


No.24 (9-9) x 4

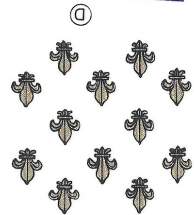


No.25

(A)



(B)



(C)



(D)

1001/1 001/1 001/1 001/1



(E)



(F)